

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	5	市町村との連携について、毎回運営推進会議に参加して頂き把握して頂いているが、福祉ゾーン内の事業所としての役割を広げていく。	新和支所に異動された方、又は新規採用の方などへ、福祉ゾーン内の事業所としての今までの取り組み等を理解して頂く。	地元新和支所に出向き、福祉ゾーン内の事業所としての歴史を伝え、事業に対しての協力を再度依頼していく。	3ヶ月
2	6	身体拘束をしないケアの実践について、言葉かけ一つでも、拘束になることを再度認識するように研修を重ねる必要がある。	法人内の委員会に入り、マニュアル等の見直し、全職員へ徹底していく。	現在の法人内マニュアルを検討し、事業所内職員へ部署内研修にて伝えて行き、言葉かけでも、拘束になることを徹底していく。	6ヶ月
3		ご家族からの意見に対して、外出支援や日常のメリハリについて少し気になる。	外出について、ご家族への報告を行う。日常のメリハリについては、レクリエーションの充実を行う。	外出について、買い物に行かれたこと等の報告不足があると考えられるので、ご家族へ報告していく。日常のメリハリについては、レクリエーションを共用型デイの開始に伴い、一緒に活動を増やしていく。	6ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。